

トウインクル音楽院 会員の皆様、そしてこのホームページにお立ちより頂いた皆様
あけましておめでとうございます。

2016年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

スズキ・メソッドの目標は「どの子ども高い能力、心の美しい文化人に育てる」ことであり、ご家族と一緒にそのお手伝いをさせていただくことを第一の使命と考えています。その方法として「音楽を通して」どの子ども立派に育つよう2016年も指導者一同頑張っていく決意です。

スズキ・メソッドでのお稽古の大きな特徴・他と比べてより高い能力の子に育つ3つを、年頭に当たり再確認して今年も一年頑張っ、楽しくお教室に通ってください！！

1. 「CDを聴く」

‘人は環境の子なり’は鈴木先生の残された本当に真実の言葉です。毎日家の中にCDが流れているご家庭のお子さんは、ただそれだけで、その環境の中でより立派に育ちます。これからお稽古する曲が既に頭の中で鳴っているお子さんと、全く初めてのものとしてお稽古スタートするお子さんでは、初めから大きな差があります。またスズキ・メソッドでお勧めする大家の演奏から、その高い「感覚」「センス」そして人間性までお子さんは知らず知らずのうちにキャッチします。更にスズキ・メソッドで取り上げる教材・バッハ、モーツァルトなどクラシックの大家からも必ず子供たちはその優れた人間性を感じ取ることでしょう。

2. 「習った曲の復習」

子供たちは、出来ること、弾ける曲でさらなる能力を自ら育てます。常に新しいアップアップの曲ばかりに無中のお子さんには中々能力は育ちません。弾ける曲をより立派に！！それが、スズキ・メソッドの能力づくりです。そのために皆で楽しく一巻のキラキラ星から合奏する「合同合奏会」を今年も5～6回企画いたします。上級生も是非参加ください。

3. 「音の練習」

声楽家は、日々の練習のまず最初に発声練習をします。器楽(ヴァイオリン・ピアノ・チェロ等)のお稽古をする方は世間一般では、「音階練習」や「エチュード」こそすれ、声楽家の発声練習にあたる練習はありません。スズキ・メソッドの「トナリゼーション」「音のお稽古」は大きな特徴であり、最も大切な練習です。ハートに届く演奏、心を揺さぶる演奏は、ハートに届く「音」、心を揺さぶる「音」無くしてはあり得ません。

~~~~~

スズキ・メソッドは母語の教育法です。赤ちゃんが生まれて言葉を話すまでの10カ月、1年、回りの大人たち、お姉さん、お兄さんたちが本当にまだ話すことのできない赤ちゃんに話しかけます。いえ、生まれる前からおなかに宿った新しい生命に対して話しかけていることでしょう。それが、1. 「CDや、時には生の演奏を聴く」ことなのです。そして話し始めた赤ちゃんに今日は「ママ」。ママが言えるようになったから今日から「パパ」を、ということはありません。「ママ」と言葉を初めて発したそのことにお母さまは満面の喜びの顔で答えます。それが嬉しくて赤ちゃんは「ママ」を繰り返します。そして話せるようになった言葉を繰り返すことにより新しい言葉を加速度的に覚えていきます。それが、2. 「習った曲の復習」なのです。そして話せるようになった言葉が、相手の心にどう響くか、どのように届くか・優しい言葉の響き、冷たい言葉の響きを子供たちは学んでいきます。それがスズキ・メソッドの最大の特徴、3. 「音の練習」です。

是非今年一年、スズキ・メソッド「トウインクル音楽院」で一緒に頑張りましょう！！